

令和 8 年度 川口市社会教育委員会 会議録

【開催日時】 令和 8 年 7 月 8 日（水） 14 時 00 分～15 時 30 分

【会 場】 川口市役所第二本庁舎 2601C 会議室

【会議経過】

1 開会

2 委嘱書交付

3 挨拶

川口市教育委員会教育長 井上 清之

- ・社会教育委員の皆さまにおかれては、日頃より本市の社会教育の推進にご尽力を賜り、厚くお礼を申し上げます。
- ・社会教育委員会会議は、社会教育法に基づいて設置、開催される会議である。
- ・社会教育委員 15 名のうち 9 名が新任となり、新しい顔ぶれでのスタートとなるが、みなさまそれぞれの立場でご活躍のことと存ずる。
- ・社会教育には、一人一人の能力の向上とともに、人々の「つながり」や「かかわり」を作り出し、地域社会の結び付きを強化するという大きな役割が期待されており、社会教育委員は、本市社会教育の方針を決める重要な役割を担う。
- ・社会教育委員の皆さまには、本市の社会教育の方向性や新たな可能性について、それぞれのお立場やご経験から多面的・多角的にご意見を賜りたい。

4 委員・事務局紹介

5 川口市社会教育委員会会議の概要

事務局が資料に基づき説明。

6 議長の選任・挨拶

議長として中山委員が推薦され、選任された。

7 議事

川口市附属機関等の会議公開に関する要綱に基づき公開。

傍聴人なし。

（1）令和 8 年度社会教育関係団体補助金交付について

事務局が資料に基づき説明。

（事務局）令和 8 年度社会教育関係団体補助金交付について意見を求める。

（委 員）PTA 活動が変革期にあることを鑑みた交付額とする必要がある。

（委 員）令和 7 年度に交付した川口市 PTA 連合会に交付した補助金は、どのように使われた

か。

(事務局) 講演会の講師謝金、総会、各種会議開催に伴う会場費等に使われた。

(議長) 異議がないため承認とする。

(2) 生涯学習の事業について

事務局が資料に基づき説明。

(3) 今後の公民館事業について【意見交換】

柱①「公民館での学習支援について」

事務局が資料に基づき、川口市民大学のテーマや受講者について説明した。

説明後、議長より、委員に意見を求めた。

(委員) 川口市民大学の講師を行った経験がある。年配の受講者が多かったが、土曜日に行ったこともあり、いわゆる現役世代の方も参加していた。

(委員) 退職するとこれまで仕事をとおして入ってきた情報は自ら入手する必要がある。年金、保険、終活などの情報が得られるとよい。

(委員) 受講者アンケートは、受講者の意見であることを踏まえる必要がある。また、受講者アンケートで、テーマに即した講師を知っているか聞いてもよいと思う。

(委員) 利用団体の高齢化も進んでいる。町会や地域に関わる方についても同様である。若い世代は、仕事や自身の生活で手一杯である。人とかかわって学ぶことの大切さを知ってほしい。例えば、子どもと一緒に参加できるもの、4回でなく1回参加でよいものを計画するなどして、参加のハードルを下げてはどうか。

(委員) 茶道をとおして若者とコミュニケーションをとっている。親子茶道、夏休み茶道などを行っている。

(委員) 著名人など、魅力的な講師を招いてはどうか。また、専門職の方からプロフェッショナルとしての話をしていただいたり、体験やワークショップを取り入れたりするのもよいと思う。また、一つのテーマを毎年掘り下げていくというやり方もある。

(委員) おもしろいものには人は集まる。紙面のみの広報では若者には届きにくい。効果的な宣伝方法を検討してもよいのではないか。

(委員) 「美術館に出展しよう」など、受講者の目的意識を明確にするという方法もある。日本画、岩絵の具、アニメなど、テーマ設定を工夫すれば、幅広い層に学びを提供できると考える。

(委員) 今、高校生の関心が高いのは生成 AI である。また、若い方を講師にして、若者文化、マンガ、ポップカルチャーをとりあげてもよいのではないか。

(委員) ベーゴマは大人も子どもも楽しめる。親子で参加できるようにしてもよいのではないか。

柱②「公民館での地域住民の交流について」

事務局が地域住民の交流の場としての公民館の役割について説明した。

議長より、委員に意見を求めた。

(委員) 公民館等を利用する際の制約が多いと感じることがある。もちろん利用ルールは必要であるが、教育局内の横の連携も図りながら、利用者目線でのルールの見直しを検討してほしい。

- (委 員) 公民館の活動や様子について、情報発信を続けることも大切である。
- (委 員) 公民館で高齢者サロンなどを行っている。ロビーが子どもたちの居場所になっているところもある。地域と公民館が一緒になって交流の機会を作っていくことが大切である。
- (委 員) サウンドテーブルテニス体験を行っているが障がいのない方にも好評である。みんなで楽しむスポーツとして、交流のきっかけになる可能性がある。
- (委 員) 公民館の利用者交流会に参加したことがあるが、とてもよかった。また、他の自治体のアイデアを取り入れてもよいと思う。

8 閉会